|  |
| --- |
| 人 　車　　＜道路＞ |
| *12月の安全運転のポイント***2023年12月号** |

冬期は路面の凍結や降雪、積雪などで追突事故やスリップ事故が多発するときです。最近では、雪の少

ない地域でも予想外の大雪に見舞われることがあります。そこで今回は、冬期の安全走行の基本や、降雪

時や積雪時の安全走行のポイントをまとめてみました。



泥はね運転の禁止

**渋滞等に備えた携行品を用意する**

冬期の安全走行の基本

ここ数年、毎年のように大雪によるスリップ事故などに

より道路が塞がれて、多くの車が長時間の大渋滞に巻き込

まれるという異常事態が発生しています。万一の事態に備

えて、飲料水、食料品、携帯トイレ、防寒具などを車に用

意しておくようにしましょう。

なお、渋滞等に巻き込まれて立ち往生すると、暖房のた

めエンジンをかけっぱなしの状態となり、燃料切れになる

おそれがあります。遠隔地に出かける場合などは、あらか

じめ燃料を満タンにしておくとともに、早め早めの給油を

心がけましょう。

泥はね運転の禁止

**タイヤチェーンを必ず携行する**

ノーマルタイヤの場合はわずかな冠雪でもスリップを

したり、上り坂を上がることができないことがあります。

スタッドレスタイヤなどの冬用タイヤの場合でも、勾配

のある上り坂では立往生することがありますから、装着

しているタイヤの種類を問わず、タイヤチェーンは冬期

の必需品です。車の中に装備されているか、破損してい

ないかなどを必ずチェックするとともに、必要になった

ときにスムーズに取り付けられるように装着の仕方を練

習しておきましょう。

泥はね運転の禁止

**路面の凍結に注意する**



冬期は、降雪や積雪がない場合でも、路面が凍結して

いることがあります。特に、雨が降った後の深夜から早

朝にかけては路面が凍結しやすくなるため注意しましょう。

また、日中でも、橋の上やトンネルの出入口、切り通

し（山や丘陵などの間を切り開いて通した道路）、一日

中ほとんど陽の当たらない日陰になっている部分などは、

特に凍結しやすいため、そうした道路を走行するときは

路面の状態に注意するとともに、速度を十分に落としま

しょう。



降雪時や積雪時の安全走行のポイント

泥はね運転の禁止

**雪が降り始めたら、すぐに速度を落とす**



降雪時は、前方だけでなくドアミラーやリアウインド

ーにも雪が付着するため、後方や側方の視界も悪くなり、

危険を見落としたり発見が遅れやすくなります。雪が降

り始めたら、すぐに速度を落とし車間距離も長くとると

ともに、不要不急の進路変更や追越しなどは控えましょ

う。

　また、降雪時や積雪時のカーブは大変滑りやすいため、

カーブの手前であらかじめ十分に減速してからカーブに

進入し、カーブ進行時のブレーキ操作は避けるようにし

ましょう。

泥はね運転の禁止

**交差点で停止するときは早めに減速する**

交差点付近は、多くの車がブレーキをかけることなど

から、路面の雪が踏み固められて非常に滑りやすくなっ

ていることがあります。そのため減速のタイミングが遅

れると、交差点の手前で停止できずに、赤信号交差点内

に進入してしまう危険があります。交差点で停止すると

きには、いつもより早めにブレーキを踏んで徐々に減速

してから停止しましょう。

泥はね運転の禁止

**積雪路では道路標識に注意する**

積雪した道路では、一時停止線や横断歩道、センター

ラインなどの路面の道路標示が見えなくなります。その

ため一時停止線を超えてしまったり、横断歩道を見落と

したり、対向車線にはみ出してしまう危険があります。

一時停止線や横断歩道のある場所には、概ね道路標識が

設置されていますので、走行中は道路標識にも十分に目

を配りましょう。センターラインが見えない道路の場合

は、できるだけ道路の左側に寄って走行しますが、寄り

過ぎると積雪に隠された側溝に落ちてしまうこともある

ため、その点にも注意しましょう。

泥はね運転の禁止

**ホワイトアウト現象が起こってもあわてない**

ホワイトアウト現象とは、猛烈な吹雪や強風などにあ

おられて舞い上がった雪（地吹雪）により、前方の視界

が奪われてしまう現象をいいます。このようなとき、あ

わてて急ブレーキをかけるとスリップする危険があります。

落ち着いてハザードランプをつけ、速度を落としましょう。

※イラストの二次利用はご遠慮願います 　　〔制作〕ＭＳ＆ＡＤインターリスク総研株式会社　リスクマネジメント第二部　交通安全サポートグループ

**「お問い合わせ先」**

